

(7) ICT 活用した交流人口拡大に向けた情報発信

1	実証講座名	交流人口拡大について
2	連携先および講師名	能生内水面漁協
3	実施日時	平成28年 ①8月22日(月) 4～6限(3コマ) ②9月15日(木) 4～6限(3コマ)
4	実施場所	能生川流域
5	受講者	海洋技術コース2年
6	受講人数	① 2名 ② 1名 計3名
7	授業科目名	漁業
8	実施の概要	アユ釣り
9	効果およびねらい	アユ釣り技術を習得し、交流人口を増やすためのアユ釣り動画を作成するために、アユ釣りの実践的指導をしてもらい、技術を習得する。
10	実施内容	連携先との協働によるアユ釣り実践、動画・写真撮影
11	講座の内容	<p>アユ釣り実践。仕掛けの説明。天井糸の付け方。竿の使用上の注意。目印の位置、おとりアユの購入の仕方、おとりアユの付け方、ハリの付け方、動画、写真撮影。</p> 

写真1  
アユ釣りの道具

<p>写真2 竿に仕掛けを つける。</p> <p>写真3 釣り実習</p>	 
<p>12 効果の検証 および課題</p>	<p>アユの友釣りは、釣り場の選定から、おとりアユの操作、アタリの取り方どれをとっても、繊細で高度な技術が必要である。また、この釣りは道具をすべてそろえると、その費用は高額になり、敷居が高い玄人好みのする釣りである。今回、アユ釣りに関してはゼロからのスタートであったが情報や道具をそろえるなどして、実釣まですることができた。生徒は、仕掛けづくりが重要であることを理解し、おとりの扱いを細かく理解し、また、自分で、瀬や淵、トロ場などの釣り場を研究し、釣り場によりアタリがあったかななどの検証も行った。また、足場が悪いことを踏まえてどのように釣りをすればよいか考えていた。1回の実釣であったが、そこからアユの友釣りの奥深さを知り、たくさん経験したいと言っている。また、友釣りばかりではなく、餌釣りやコロガシ釣り、ドブ釣りによる釣りもしてみたいと意欲的である。アユ釣りの講習会を、生徒は楽しみにしていたので、実施できなかったのは残念である。来年は多くの生徒にアユ釣りの楽しさを伝え、それを発信できればよいと思う。</p>